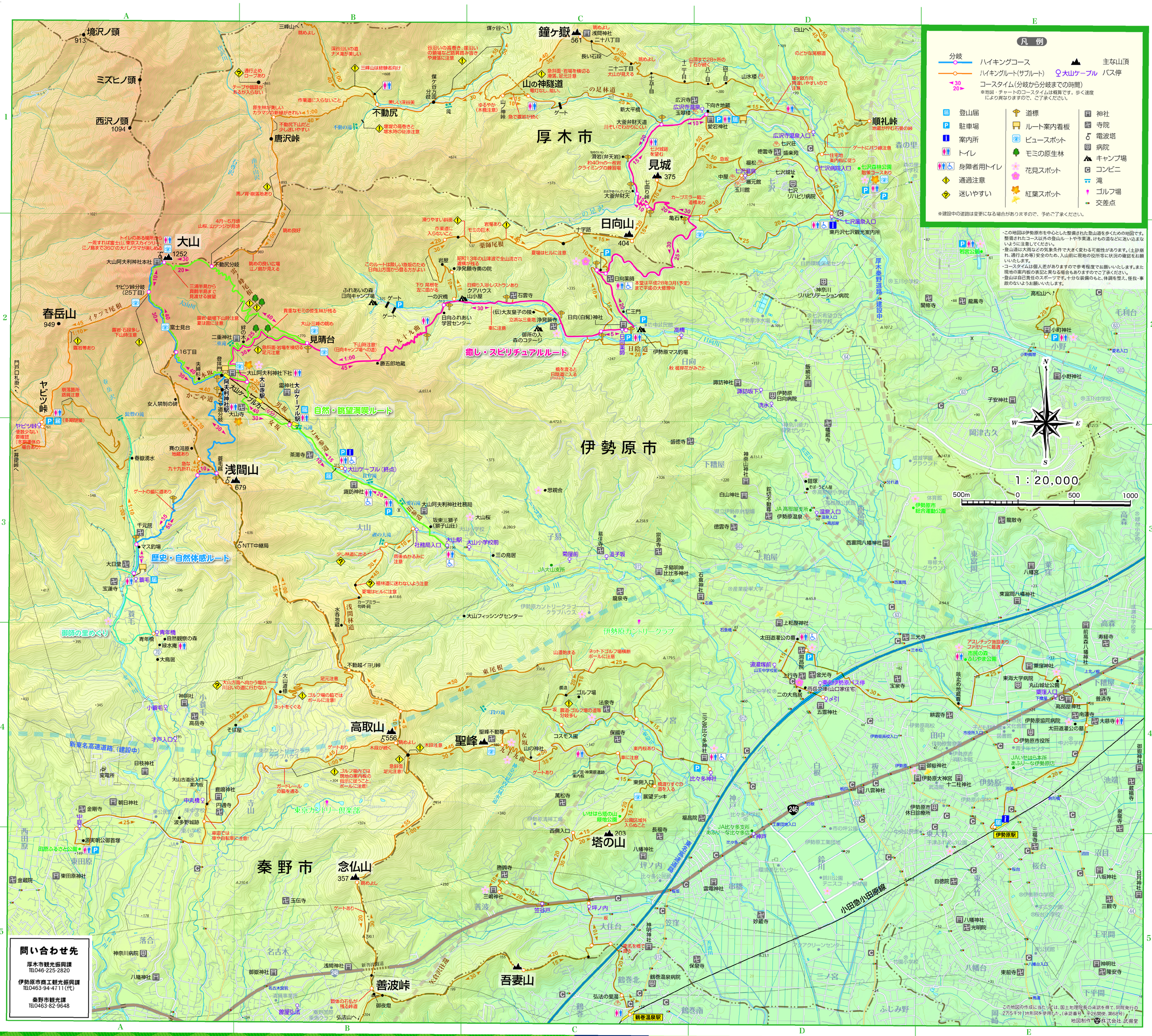


おおやまパワースポット

寺

大山寺 MAP B-2

奈良の東大寺を開いた良弁僧正が天平勝宝七年(755年)に開山した古刹であり、願行く上人が鋳造した木尊鉄造の不動明王、二童子像は国の重要文化財に指定されています。厄除け開運を願う土器投げ(かわらけなげ)や、恋愛成就や安産を願う幸福の鐘があります。

寺

日向薬師 MAP C-2

かつて日向山霊山寺といわれ、元正天皇の頃(716年)、僧行基によって開創されたと伝えられる日本三薬師の一つです。鉈彫の本尊薬師如来三尊像を始め、薬師如来像・阿弥陀如来像・四天王・十二神将など26点の国の重要文化財があります。本堂は現在「平成の大修理」を行っており、完成は平成28年を予定しています。 ※画像は大修理前の本堂です。

景観

大山山頂 MAP A-2

大山山頂からの眺望は、かながわの景勝50選のひとつであり、雄大な景色をみることができます。

神社

大山阿夫利神社本社・下社 MAP A-2

社殿下に入ると、ご神水大山名水や天然記念物のさざれ石、ボケ封じの守護神双体道祖神などがあります。山頂にある本社は、大山祇神(おおやまずみのかみ)、雷神(いかずちのかみ)、高おかみを祭神とし、海人たちの守り神として鳥石楠船神(とりいわくすぶねのかみ)を合祀しています。

自然

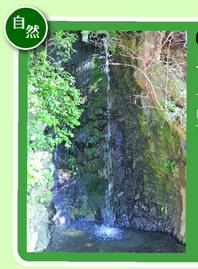
森林浴 MAP B-2

二重滝付近から見晴台までの山道にモミの原生林があり、神奈川県の天然記念物になっています。

自然

良弁滝(ろうべんたき) MAP B-3

大山寺を開山した755年、良弁僧正が最初に水行した滝といわれています。



自然

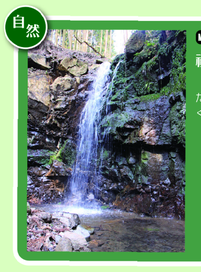
愛宕滝(あたごたき) MAP B-3

良弁滝と並び、大山詣での参詣者たちが身を清めた滝といわれています。

自然

禊(みそぎ)の大滝 MAP B-3

岩を切り、滝としました。浮世絵などにも数多く登場します。



自然

二重滝 MAP A-2

雨乞いの滝とも呼ばれ、昔この滝に竜神が現れたと言われています。

元滝 MAP B-3

滝の上に不動明王の石像があることから不動滝とも呼ばれていました。

自然

亀石 MAP C-1

薬師林道沿いの、鬱蒼とした森の中に鎮座する、高さ約4m、幅約10mの謎の巨石。謂れについては地元でも諸説あり、①地名が「亀石」なので、周辺で一番大きなこの石を象徴として「亀石」と呼ぶようになった、②形が亀に似ているので「亀石」となった、などが伝えられていますが、確たることは分かっていません。

自然

大釜弁財天 MAP C-1

大沢川上流にある弁財天。庵の目の前を流れる滝つぼが大きな釜の型をしているためこの名が付いたと伝えられています。大釜弁財天に対する信仰は地元を中心に広まり、巳(蛇)は弁財天(女性の神様)の「使い」と信じられていたため、人頭蛇身の石碑が置かれたようです。

大山絵とうろうまつり
(大山各所)

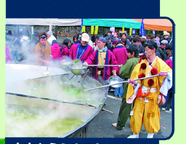
大山阿夫利神社秋季例大祭
(大山阿夫利神社下社ほか)

火祭薪能
(大山阿夫利神社社務局)

紅葉ライトアップ
(大山寺・大山阿夫利神社下社)

元日 初詣
(大山阿夫利神社本社・下社ほか)

節分祭
(大山阿夫利神社下社)



大山とうふまつり
(伊勢原市営大山第2駐車場ほか)

大山の歳時記と四季

四季

春:樹齢400年大山阿夫利神社社務局裏の大山桜(4月上旬)
夏:新緑の大山(5月上旬〜下旬)
秋:紅葉の大山(11月中旬〜下旬)
冬:雪化粧をまとった大山(1月〜2月)

歳時記

4月 上旬	大山桜まつり(大山阿夫利神社社務局)
15日	日向薬師春季例大祭(日向薬師)
5月 下旬	酒まつり(大山阿夫利神社下社)
6月 30日	夏越大祓い(大山阿夫利神社下社)
7月 27日	大山夏山開き(大山阿夫利神社下社)
8月 中旬	大山絵とうろうまつり(大山各所)
27〜29日	大山阿夫利神社秋季例大祭(大山阿夫利神社下社ほか)
9月	
10月 上旬	火祭薪能(大山阿夫利神社社務局)
11月 1〜中旬	大山菊まつり(大山阿夫利神社下社)
中旬〜下旬	紅葉ライトアップ(大山寺・大山阿夫利神社下社)
12月 冬至	星まつり(大山寺)
下旬	師走大祓い(大山阿夫利神社下社)
1月 元日	初詣(大山阿夫利神社本社・下社ほか)
7日	筒粥神事(大山阿夫利神社下社)
8日	初薬師(日向薬師)
2月 3日	節分祭(大山阿夫利神社下社)
28日	五壇護摩(大山寺)
3月 第二 日	大山登山マラソン
第三 土・日	大山とうふまつり(伊勢原市営大山第2駐車場ほか)

大山登山について

心得

○各人の体力で十分に歩けるスケジュールを組みましょう。

○着替えのシャツや上着類を持ち、こまめに気温に対応できるようにしましょう。

○歩くときは、急がずゆっくりと。急な登りは歩幅を小さくして登るのが、疲れないコツ。一時間に一度は休憩をとるようにしましょう。

○山のマナー(『登り優先』、『山側待機』、『あいさつ声掛け』、『情報交換』)などを守りましょう。

○自分で出したゴミは、必ず持ち帰りましょう。

注意事項

○山の天気は変わりやすい。
大山は、別名阿夫利山- あふりやま-(雨降山- あめふりやま-)と呼ばれ、雨の多い山です。
平地で晴れていても、雨具等の準備をしましょう。

○トイレは早めに済ませましょう。
山はトイレの数が少ないので、予め場所の確認をしましょう。
山頂などでは冬期使用できないこともありますので、注意してください。

○余裕を持った登山計画を立てましょう。
登山中の転倒・滑落事故が数件発生しています。登山前には、登山計画書を提出しましょう。
登山口近くの駐在所や主要登山口に投函箱が設置されています。

○公共交通機関の最終便を確認しましょう。
ケーブルカーや一部バスは最終便が早いので、注意してください。
また、暗くなってから下山する場合は、懐中電灯で照らすなど、足下に気をつけましょう。

○冬山は積雪・凍結があります。
軽アイゼン、登山靴、ステッキなどをご用意ください。
積雪時などはコースが見えにくくなります。事前に地図をよく確認しましょう。
気温が高いとめかるみが発生し、滑りやすくなりますので、注意してください。

山に生息する野生動物

○クマやシカ、サルなどの野生動物が生息しています。鈴などの音の鳴るものを携帯し、人間の位置を動物に伝えましょう。

○野生動物にエサを与えないでください。また、食べ物の残飯等は必ずお持ち帰りください。

○ハイキングコース内に獣害防護柵が設置されている場合があります。
扉を開けて入ったら、必ず閉めましょう。

○ヤマビルに注意してください。吸血されないためには、靴下や長靴を用意するとともに、服装の隙間をなくし、足回りに忌避剤を一面に塗布し、予防しましょう。吸血行動が活発にみられるのは、4月〜10月で、特に気温25度前後、湿度70%程度の日は注意が必要です。

登山の装備品

○**ザック**…体型にあったもの
○**レインウエア**…晴れの日でも持って行きましょう
○**着替え・防寒着**…こまめに温度調節できるようにしましょう
○**帽子・サングラス**…紫外線予防
○**トレッキングシューズ**…靴底がしっかりしたもの
○**ストック**…足の疲労感を軽減
○**アイゼン**…冬山では必須
○**ヘッドランプ**…懐中電灯可
○**食料品**…十分な水、高カロリーで食べやすいもの
○**地図・コンパス**…地図が透けてみえるものが好ましい
○**ロールペーパー**…水に溶けやすいもの
○**健康保険証**…コピーを携行しましょう